



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 アピックヤマダ株式会社
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
(コード番号 6300 東証第二部)
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
(TEL. 026-275-2111)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社グループは、平成 27 年 5 月 14 日に中期経営計画（平成 28 年 3 月期～平成 30 年 3 月期）を公表し、推進してまいりました。本日「平成 28 年 3 月期決算短信」で公表したとおり、中期経営計画の 2 年目にあたる平成 29 年 3 月期の業績数値目標を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 目標数値（連結ベース）

(修正後)

単位：百万円

	平成 28 年 3 月期 (実績)	平成 29 年 3 月期 (計画)	平成 30 年 3 月期 (計画)
売上高	10,897	12,000	14,000
営業利益	139	320	700
売上高営業利益率	1.3%	2.7%	5.0%

(修正前)

単位：百万円

	平成 28 年 3 月期 (計画)	平成 29 年 3 月期 (計画)	平成 30 年 3 月期 (計画)
売上高	11,900	12,900	14,000
営業利益	210	450	700
売上高営業利益率	1.8%	3.5%	5.0%

2. 修正理由

当社グループは、中期経営計画“APIC 実現！”を「市場のニーズに応えた製品・事業へ絶えず事業構成の入替を進めるとともに、社内体制を変革し、収益を安定して確保する」ことを目的として策定し、計画した施策を実行してまいりました。

しかしながら、本日公表したとおり、初年度の平成 28 年 3 月期の業績において電子部品組立装置事業は計画を上回りましたが、電子部品事業においては LED プリモールド基板事業を主因として計画を下回る結果となりました。また、マーケット別では中国、東南アジアマーケットが当初想定より弱く、連結ベースで売上、利益両面で当初計画を下回る結果となりました。この結果を踏まえ、電子部品事業の中期経営計画 2 年目の計画数値を引き下げたことにより、平成 29 年 3 月期の目標数値を修正することといたしました。

なお、当中期経営計画において電子部品組立装置事業で重点市場として定めたスマホ等のハイエンド向け半導体市場、車載半導体市場、WLP・LPM市場は、現時点では想定どおり順調に拡大しており、また、電子部品事業に関しても高輝度向け LED 市場の拡大、新製品の立ち上がり見込み等から、最終年度である平成 30 年 3 月期の目標数値に現時点では変更ございません。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述および数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上